

★ 新成人の主張

新成人代表の3名が意見発表を行いました

青野 瑞季 さん

今日は私たちのためにこのような盛大な式を開催して頂き、誠にありがとうございます。こうして成人式を迎えることが出来てとても嬉しく思います。また、久しぶりに同級生のみんなに会えてとても嬉しいです、中学生の頃に戻ったような気持ちになります。

今日、私たちは成人式を迎え、大人としての第1歩を踏み出しました。自分の行動に責任を持ち、自分の将来も自分で考えて決めなければなりません。しかし、私はまだ学生ということもあり、未だに自分が成人したという実感が全く湧きません。分からないことも沢山あります。まだまだ両親や友達への支え、周りの大人の方々の助けがなければ生きていけません。だから、成人したからといって何事も一人で抱えるのではなく、周りの方々に助けを頂きながら成長し、一人前の大人になればなと思っています。

そしていつか、沢山もらったご恩をしっかり返していきたいです。そして、周りの方々が私を助けてくれたように、私も誰かを助けてあげられるような大人になりたいと思います。

これまでの20年を振り返ると、両親や友達、先生方など私に関わってくれた方々に本当に感謝しかありません。この感謝の気持ちを忘れずに、21年目からも頑張っていきたいと思っています。



富田 剛良 さん

今日は私たちのためにこのような会を開いて頂き誠にありがとうございます。

では先ずは簡単に、僕が現在何をしているかということについて話したいと思います。僕は現在、都内の大学の情報系の学部に通いつつ、同じく都内のIT企業で働かせてもらっています。毎日楽しいです。

これだけ聞くと、すごく順調で何の苦労もなかったかのように聞こえるかもしれませんが全くそういうことは無く、中学卒業後から今日に至るまでを振り返ると、苦労の総量の方が多いです。実は僕は高校卒業後、一年間浪人しています。その間は自分との戦いで、かなりメンタルを消耗しました。そして、だからと言って志望校に見事受かったわけではなく、第一志望の国立には落ちています。そこからはくよくよしている暇もなく、大学が決まった3月から、空き時間をプログラミングの独学に捧げ、今年の9月になんとかIT企業で働かせてもらえる運びとなりました。聞けば僕は、40倍の倍率でこの企業の採用を勝ち取ったそうです。

僕には、プログラムのスキルでリモートワークをし、世界を回るという目標があります。今はその目標の軌道に乗っているという自覚があるので、毎日とても楽しいです。だから皆さんも、何かやってみようと思ったり、目標があるなら、半年、あるいは一年といった期間、その目標に向かって励んでみてはいかがでしょうか。達成は難しくとも、軌道に乗せることくらいはできると思います。そうすると、毎日が楽しくなったりしますよ。



佐藤 駿 さん

このたびはこのような盛大な式を開催していただいた関係者の方々、及び多忙な中ご臨席いただいた来賓の皆様へ御礼申し上げます。

新成人の皆様はこの約20年間をすごしてどうでしたか？私はこの20年常に何か後悔しながら生活していることが多かった気がします。幸せや大事な物など色々なものを失ってから気付いたり、自分の言動一つ一つでも嫌になることが多々あります。ただ、それでも今生きてここに立っているのは何一つ不自由なく育ててくれた両親。そして、辛い時に慰めてくれたり、嫌なことを忘れるくらいたくさん楽しい思い出をくれた友人達のおかげだと改めて感じ、感謝しております。

この先自分の人生が幸せかどうかは正直わかりません。ただ、死んだ時に幸せだったと感じられるようにこれから努力していきたいと思っています。また、皆様のご来賓の人生も幸せであることを願っております。



実行委員の皆さんお疲れ様でした！

- ・司会進行 佐藤 耀平 さん
沼井 奈月 さん
- ・ビデオ作成 國分 竜二 さん
- ・開式の辞 諸岡 陸 さん
- ・ピアノ伴奏 松原日向子さん
- ・閉式の辞 千葉 祐輔 さん



令和2年 美浦村成人式

希望あふれる「はたち」の門出！

1月12日、中央公民館にて令和2年美浦村成人式典が行われました。今年成人を迎えた172名のうち、124名(男性67名、女性57名)が式典に出席しました。新たな門出を祝福するよう天候にも恵まれ、会場には希望に満ちた爽やかな笑顔が溢れていました。式典では中島村長が「視野を広く持ち、より一層教養と英知を磨き、社会において貢献されますよう期待しております。失敗を恐れず、今のうちにできるだけの経験をしてみてください。皆さんの力は社会を変える大きなエネルギーとなります。人口減少、少子高齢化時代に直面し、地方創生を進めるには皆さんのような若い力が必要です。」と新成人の皆さんを激励しました。新成人の皆さんの新たな門出をお祝いするとともに、今後の活躍を期待いたします。

成人者代表謝辞 嶋田 錬 さん

本日は、成人を迎えた私たちの門出に対し、このように盛大な素晴らしい式典を開催していただき、誠にありがとうございます。また、お祝いと激励の言葉をいただきまして、村長、来賓の方々、ご出席いただいた皆様に感謝申し上げます。

私たち新成人は、令和最初の成人であるとともに将来の日本を担う新成人でもあります。これからは大人としての責務を果たすとともに、先輩方とともによりよい日本をつくり、国際社会に貢献できるよう努めていきたいと考えております。

さて、時代は平成から令和に変わりました。平成を振り返ってみると、阪神淡路大震災、新潟中越地震、東日本大震災、熊本地震といった大災害の時代でもありました。令和に入っても自然は私たちに猛威を振りました。10月の台風19号では、日本各地に大きな被害を与えました。今後も首都直下地震や南海トラフ地震といった災害が起こるといわれていますが、平成での教訓を活かし災害に強い日本作りに私たちも貢献していかなければならないと思っています。

また、夏には東京でオリンピックが開催され多くの外国人が日本を訪れることでしょう。オリンピックを通して、努力することの大切さや、家族への愛、そして国家

や人種や宗教といった相違を超えて一体感を持ち、一つのものを目指すことの素晴らしさを感じられると思います。しかし、その裏ではいろいろな面で日本が試される年にもなるでしょう。

今、私たちの生きる世界では地球温暖化、貧困、国家間の争いといった様々な問題を抱えています。また国内にも直接関わる問題を抱えています。私たちが直接行動を起こし解決することは難しいことですが、一人ひとりが与えられた役割を行って行くことが社会への恩返しに繋がることでしょう。

私は今、教員を目指し大学で教育学を専攻しています。私は、高校時代に挫折を味わいました。天狗だった自分の鼻を折られどん底まで落ちました。この経験は誰もが味わえるものではありません。その経験をできたことは、今後の人生の大きな財産になると考えています。また、私は、小・中・高と先生に恵まれ、沢山のことも指導していただきました。挫折の経験、先生方から教わったことを将来の子ども達に伝え、次世代の日本を作る人材を育てていきたいと思っています。

私たちが生まれて20年が経ちますがこの20年間は自分一人で歩いてきたわけではありません。私たちを支えてくれた両親、時に厳しく、時に優しく教訓してくれた先生方、私たちの成長を暖かく見守ってくださった地域の方々、共に歩んだ友人、仲間達のおかげでもありますが、この感謝の気持ちと美浦村で育った誇り、そして成人としての決意を心に刻み、これからの人生を歩んでいくことを誓って、新成人代表の挨拶とさせていただきます。